



**HSK**  
は づ き  
**葉月号**  
NO.129 2011.8.10号  
**Advocate**

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号473号  
発行/2011年8月10日(毎月10日発行)  
編集者/我妻 武  
住所/〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
H P <http://npolife.net/>  
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
定 価/100円



## 「雄大な学びの時間」

たねや 小黒 悠佑

週に1度、メンバー3人とスタッフ1名で行っている農業体験は、ライフの新しい事業として今年の5月の中旬から始まりました。

札幌から約1時間半車を走らせ、道道116号線の左側に見える、三笠市の達布山展望台の下に広がる小高い畑が、私達のお世話になっている「のみやまファーム」さんです。



農作業は午前11時から始まり、お昼を挟んで約3時間。短い時間ですがとても濃厚で貴重な経験です。

午前中は作物の世話や片付け、例えばミニトマトへの栄養剤注液、莖の脇芽かき、スイカの向きを変え日焼け防止、収穫が終わったメロンの株の片付けなど、その時々でやることは違います。最近では暑いので、納屋の中でシールをパックに貼る作業をしています。

お昼には、野見山さんの奥さんお手製のみそ汁や、野菜炒め、メロンやスイカが私達に元気をくれます。

午後のスタートは雑草狩りが多いです。大豆の葉と間違えない様に雑草だけを刈る作業はなかなか難しく、メンバーのYさんは、以前実家

で農家をやっていたそうで、大豆と雑草を上手に見分けて私に教えてくれます。

カンカン照りの中の作業は私達の体力を奪います。戦線離脱した仲間はちょっと木陰で休み、水分補給し回復したらまた参加します。

帰る30分前は、カフェやひだまりで使う赤や黄色の可愛いミニトマトをみんなで収穫します。1度シワシワのミニトマトを収穫してしまったこともあり、内部からクレームを受けてしまい、みんなで気をつけています。私はみんなに「若くて生きのいいプリッとした、AKBみたいなやつを頼むよ!」と言います(笑)

収穫したミニトマトを計りにかけ、あっという間に帰る時間。車に乗り込んだ私達に野見山さんご夫婦はいつも「またねえ」と言って手を振ってくれます。

農業は瞬発力ではなく持久力。時折休みつつ、ずっと続けること。その雄大な時間を感じながら働けることに感謝します。



# アドボケイト情報コーナー

ライフ理事 我妻 武

ここ数年、障害者福祉を取り巻く仕組みが次々変わってきています。新たな法律や地方自治体としての条例なども出来てきています。実感としてはなかなか持てないところかもしれませんが、これから私たちを取り巻く環境が変化することは明らかです。そこで、このページでは最近のニュースから取り上げます。

## 障害者虐待防止法が成立（6月17日）

6月17日に障害者虐待防止法が参議院本会議で全会一致で可決成立しました。子供と高齢者には同様の法律がありましたが、障害者もやっとできました。障害者への虐待を見つけた人に市町村への通報を義務付けるほか、虐待が疑われる家庭へ市町村の立ち入り調査も可能となります。

大きなカギとして自治体の取り組みが問われることとなります。自治体には虐待対応の窓口となる「センター」の設置を義務付けしているし、通報を受けた市町村は家庭への立ち入り調査や一時保護ができることになりました。

どう虐待に立ち向かうのか、障害当事者団体などとの連携も重要になるでしょう。さらに障害者条例がある県では条例と合わせて障害者の人権を守ることとなりますが、虐待根絶に向けての大きな一歩になるでしょう。施行は来年10月。

## 熊本県障害者条例の施行（7月1日）

千葉県、北海道、岩手県では既に障害者条例（通称）がありますが、熊本県でも条例が公布されました。正式名称は「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」といい、施行は来年4月となります。

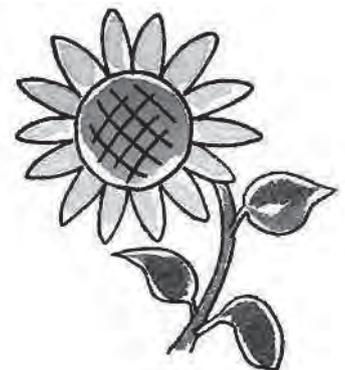
何を持って差別と定義をするのか、それぞれの県で議論があるところですが、熊本でも定義することは難しかったようです。北海道の条例にも言えることですが、例え小さな盾かもしれませんが、障害者の人権を守る仕組みができたわけです。ですから、積極的な活用をし、虐待防止法との連携を図りながら中身を充実していくことが重要になってくると思われます。

## 障害者基本法の改正（7月29日）

7月29日に障害者支援の基本原則などを定めた改正障害者基本法が参院本会議で全会一致で可決、成立しました。これは、就職や教育などあらゆる機会での差別を禁じた「障害者の権利条約」批准に向けて国内法整備の一環となるものです。

改正の要点としていくつかありますが、手話を言語と認め、手話通訳などの確保を進める（可能な限り）。障害のない児童・生徒と共に学べる（可能な限り）。災害名で情報が早く的確に伝わるようにする。等々があげられていますが、この「可能な限り」と明記されていることが財政的なことなどから出来ない理由になるのではないかと気がなるところです。

さらに今後、障害者総合福祉法（仮称）と障害者差別禁止法（仮称）の制定に向けた動きが出てくることとなりますが、障害者や有識者らでつくる障害者政策委員会を設置することも明記していますから、この動きに期待をしたいと思います。



## アウトソーシングセンター 元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



### 星園高校跡地への移転を終えて

大加瀬 敦

7月30日の引っ越しを終え、元気ジョブの事務所が星園高校跡地に移転しました。ライフ全体での大規模な引っ越し作業ということで、私自身もかなりバテ気味でした。暑い中体調を崩された方がいなかったのであれば良いのですが…。

今回の移転により今までの事務所より広いスペースになったことで、いつでもお客様を迎え入れることが出来るようになっていきます。元気ジョブの活動に興味をお持ちの方、近くに来た際には気軽にお立ち寄り下さい（営業の集まりですので、あまり人がいない事務所ですが…）。

正直、私個人としては広すぎて少々落ち着かない感じもしますが、これからは打合せ場所が事務所内に出来たことを有効に活用し、複数の事業所での共同受注などを増やしていかなければ！と気合を入れ直しているところです。

元気ジョブが『ふるさと雇用再生特別対策推進事業』の一環として活動するのも、あと半年程度。まだまだ実績は乏しく安定とは程遠い状況ではありますが、数値的な実績だけでなく、今後に繋がって行く可能性や事業所間での繋がりを構築していくことを意識し、新たな業務の受注を目指し、サポートをかけていきます。

皆さんもご協力よろしくお願ひします！



### <盂蘭盆会～想う気持ち>

中田 俊秀

今年も暑い夏が続きましたが、お盆を過ぎるともうそこには秋の気配が感じられます。本州方面はまだまだ暑い夏が続くようですが、今年は電力不足による「節電の夏」を強いられていて過酷な毎日を過ごされていることを思うと「涼しい北海

道」に感謝しなければなりませんね。

先日、お墓参りに行きましてご先祖へ供養の合掌をしてきました。霊園内のあちらこちらでお墓やその周りを清掃し供花や供物を供え、お線香を焚き、お坊さんの読経等々の光景が見受けられ、人それぞれが色々な想いをご先祖へ報告していたことと思います。「心の拠り所」としてご先祖や故人に対して想う気持ちを現世にいる私たちから次の世代へつなげていくことが大事なのでしょうね。仕事の都合、その他諸事情でお墓参りに行けない人たちもたくさんいる中でお墓参りができただけでも幸せだと感じています。

先般、東日本大震災で多くの人たちが亡くなりました。津波が押し寄せてきて、尊い命を一瞬にして消し去ったこの酷い惨劇を忘れることなく、風化させずに後世に語り継がれていかなければなりません。被災地では新盆を迎えましたが亡くなった人やご先祖への供養をしたくてもできないのは大変悲しいことで残念です。

津波で、墓石が流されたり、倒れたり、壊れたりしお寺まで倒壊。また原発事故により指定避難地域内の被災者が他県での避難生活を強いられているため、故郷に帰れなくお墓参りができない現実がそこにあります。

私たちは家族や親戚、ご先祖、故人へ「心の拠り所」、「生きる糧」として心の支えになっていることを常日頃感謝しなければなりませんね。

ご先祖、故人を想う気持ち、祖父母を想う気持ち、両親を想う気持ち、子供を想う気持ち、兄弟を想う気持ち、友達(隣人)を想う気持ち、会社を想う気持ち…。

「想う気持ち」が行動を変え、考え方も変えます。人それぞれ「想う気持ち」は千差万別ですが、心持ち一つで人は変われることを信じていますし、見返りを求めない「想う気持ち」を表わすことが大切だと思います。



**札幌市リユースプラザ**〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816<http://www.reuseplaza.jp/>**— リサイクルプラザ発寒工房について —**

発寒工房館長 ジョン ウルク

今回は、発寒工房のリサイクル事業について皆さんに伝えたいと思います。

発寒工房では札幌市内で回収した大型ゴミをリユース品とリサイクル品に分別し、リユース品は厚別区にあるリユースプラザに、リサイクル品は西区にあるリサイクルプラザ宮の沢に搬出するための作業を行っています。その中には使えない物も混じっていますので、そういう物は部品と部材を取ってから廃棄処理します。限られたスペースのヤード(保管庫)で搬入物と搬出物のバランスを取るのも簡単ではありません。

発寒工房は様々なリサイクル品の中で木材製品を中心に修理を行っています。例えば、タンス類、戸棚類、椅子類、テーブル類、そして自転車があります。

工房の中には限られている設備と材料でより良い物に仕上げるため、作業分担している職員達があります。今、工房には家具の担当者が5名、自転車の担当者が3名働いています。熟練した職人7名と新人1名です。

ここで家具の修理がどのように行われているかと言うと、修理が決まった物を工房に搬入し



椅子のキズにパテを付けて磨く作業の様子

洗い作業から開始します。その際に破損されている箇所、部品を確認し修理の範囲や塗装の色等を構想します。それから破損されている所の部材の交換や補修をします。その後、キズなどをパテ、ボンド等で埋めてペーパーをかけ、最後に塗装をしたら完成です。

最近の傾向として、古い和ダンスの着物を収納する部分を作り変えて、整理タンスにリサイクルして出荷することが多いように思われます。



ヤードの中には修理を待っている家具がたくさんあります

専門の職人が手を加えれば、また新たに使える家具として再生されるのです。基本的には一人が一つの物を完成まで責任を持って進めています。作業に慣れていない場合は分業にして安定的な作業が出来るようにしています。例えば、パテをする係、部品を取り換え補修をする係、塗装をする係に分かれて、得意分野の作業をしています。修理が終わったらじっくり時間を掛け、完成品をチェックします。色の変色はないか、部品はすべて付いているか、ドア等の開閉はスムーズになっているか等を確認しています。工房で修理されている物、それぞれ一つひとつに作った職人の心が込められています。

皆さんが使っている物は、いつかリサイクルされるかも知れません。発寒工房で生まれ変わった家具と、また生活する日が来るかも知れません。環境と資源のために物を大切に使いましょう。



## 「リユース」を合いことばに!! その2

### ～ 自転車の抽選販売 ～

札幌市リユースプラザ 松永 クニ子

月2回リユースプラザでは、自転車の抽選会を行っています。

札幌市の大型ごみに出されたりサイクル自転車を、発寒工房で修理をして「サイクルセンターあべ」の検査後、TSマーク付帯保険加入書を取得した自転車の展示をしています。

1回に10台(3月～11月それ以外は5台程度)を展示しています。現在は、東日本大震災の避難者へ月5台の無償提供も行っています。

たくさんの市民が毎回応募に来館します。人気のある車種は、切替え付きの通称ママチャリといわれるタイプで、特に前にカゴがあり後ろに荷台付きが人気です。

多い時は、1台の自転車に70人以上の申込みがあります。切替え付きでお値段4,500円程度となっています。

9月の第1回目の抽選ですと、8月31日(火)から9月9日(金)までに申込み、10日(土)午前11時から抽選開始。当選者へは午後



リユースプラザ市民講座「自転車修理教室」  
発寒工房 寺野下・中橋職員の講習でのパンク修理のようす

1時から電話連絡をしています。抽選会お1人1回の応募のみ有効となっています。詳しいことは、ぜひ「リユースプラザのホームページ」をご覧ください。



8月13日(土)公開抽選のようす

そちらで当選発表も行っています。

この自転車の修理を、主に担当しているのが発寒工房の中橋さんです。年に1～2度抽選前に自転車の不具合が見つかることがあり、出張で修理に来てくれます。あっという間に修理をして帰って行く、とっても頼もしい人です。

そして、自転車を大型ごみのリサイクルに出す方へのお願いです。自転車はお近くの交番で、防犯登録を抹消してから出して下さい。そのひと手間を掛けた自転車は修理後、とってもスムーズにリユースプラザやリサイクルプラザ宮の沢へ納入することができます。誰かに喜んで使ってもらってもらうためのひと手間です。よろしくお願いいたします。

競争率のとても高い自転車が当選された方は、満面の笑みで引取りに来館されます。

物置に眠っている自転車がある方は、大型ごみ収集センターへ電話して下さい。

※TSマークとは、自転車利用者が自転車安全整備店で自転車安全整備士による自転車の点検・整備を受けたとき貼付されるマークで、交通事故にあったときの被害者を救済する保険が付いています。

## リユースプラザ文化祭

9月4日(日)  
AM10時～PM3時

札幌市リユースプラザ  
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10  
地下鉄東西線新さっぽろ駅7・9番出口徒歩8分

- 働く車の社会見学「ごみ収集車がやってくる」
  - 環境セミナー「リサイクルのその先は？」
  - 厚別区PTA連合会よさこいチームの演舞
  - フリーマーケット、福祉バザー ● 廃材工作教室
  - 保育園児の絵画展 ● おもちやのばくりっこ
- など盛りだくさん



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

♪ **共働サービス たねや**

♪ 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32  
テラ二十四軒1階

♪ TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
taneya@npolife.net

♪ 出張販売

♪ 配送業務

♪ チラシ折り

♪ 封筒詰め作業

♪ 箱折り・シール貼り

♪ 清掃委託業務

♪ その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

☆ **新体制になって** ☆

たねや所長 島 明子



8月1日より「共働サービス たねや」は「ひだまり配送センター」と統合し、従来行っていた軽作業・清掃委託業務の他に出張販売・配送業務を新たに開始しました。

メンバーも、より働き稼ぐことを意識した集団に変わりました。場所も傍楽亭に移動し、心機一転、新しい雰囲気の中で動き始めています。

今後も全員で切磋琢磨し、売上アップと同時に、メンバーの工賃アップを目指して行きたいと思えます。



ニューたねやになって

木原 悟志

8月からたねやとひだまり配送センターが一緒になりました。配送センターとたねやのメンバー数名がはたらいています。

みんなで新たな気持ちで、仕事に取り組んでいきます。



玄関、開けたら歩いて3分!(意味不明)

児島 義秀

8月からひだまり配送センターがつぶれ…もとい、たねやに吸収したため、本部にある第二たねや?たねや第二?(どっちなんだい?)に来ました児島です。まだ自分でも、何が出来るか模索中ですが、見つけて頑張ります。

家から近くなったから寝坊しても大丈夫…



っていてもヘルパー来るから、寝てられないけどね!(^曲^)  
児島でした!

**たねやモモ**

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOMO 102

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323



5年ぶりにたねやもどってきて

川村 良一

コン・ブリオひだまりで車でむかいくるときのって行ったかえりも車でのって行った。たねやでは車のときもあるけどあるきもある。あるいてもたまあにあるくといひ。

今日からJPのありがきます。このあとあきピンでたねやでJPをおることになりました。

就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・ポストイング・DM発送  
・その他の軽作業

# きばりや

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533



### 新体制になって

所長 岡田 悟

ライフが組織替えをして1ヶ月が経ちました。きばりやとしても職場が西町から琴似に変わっただけではなく、下請けの軽作業から脱却を目指し、もじやのアンテナショップとして印刷事業を行う事業体へと変貌をとげました。とはいえ、まだまだプロとして制作にかかわっている従業員は1名でその他は引き続き軽作業を行っているのが現状。むしろ、年々軽作業の需要が高まっているのではないかと感じることも多々あります。しかし、そこに留まっても売上の面でも精神的な面でも前に進んでいかないことはここ何年かで感じてきました。

私自身も印刷のことは全くの素人でこれからという段階です。もちろん、きばりやの従業員すべてがパソコンを習得して印刷に関わることは難しいかもしれませんが、仕事の幅が広がったことで、それぞれが担える仕事の範囲も広がったと考えています。

ライフがこの西区で印刷事業を続けてきて、地域に根差した活動をきばりやとして大切にしながら、日々努力していきますのでよろしくお願いいたします。

### きばりやのスタッフが代わって

織本 亜哉子

今月からきばりやのスタッフが3人、もじやから異動してきました。その代わりにきばりやから3人もじやに異動しました。

新しいスタッフになって、ポストイングや通信の折り、今までやったことないこと、コンピューターのソフト、イラストレーターを教してもらったら、新しいこともできると思います。



MDでの文章起こしも教えてもらって新しいテープ起こしも挑戦してみます。

これから新しいきばりやのスタッフ8人でがんばってやっていきたいです。

### きばりやへ異動になって

渡邊 重治

8月1日からライフ全体で大きな異動がありまして、8月1日からきばりやに異動になりました渡邊です。きばりやでは以前仕事をしていましたが、きばりやで仕事をしていた時の人たちが若干しか変わっていないのと、雰囲気、そして仕事の内容も変わらないようなので、自分としてはよかったですと思っています。

でも、きばりやからもじやへ異動、そしてまたきばりやへ異動と決まったとき、最初はきばりやではどういう仕事があるのか、新しく全くしたこともない仕事だったらどうしよう。また、どこまでできるかなど色々考えたこともありました。

でもきばりやに異動してからまだ何日もたっていないのですが、新しい仕事でもできる気がします。また、もじやで教えてもらって覚えたこと、パソコンでの仕事などを忘れないようにしたいと思っています。

### きばりやのスタッフになりました

大島 隆也

8月10日からきばりやのスタッフとして働くことになりました、カフェドキバリヤの大島隆也です。

接客の仕事は今まで経験したことがなくて、自分にできるかなあ？と不安もありましたが、カフェの皆さんの指導のおかげで、少しずつですが慣れてきました。

シフト制はまだ違和感があるけど早く慣れたいです。

これから先も長く続けて一人前になれるように頑張りたいです。





**コン・ブリオ ひだまり**  
 〒063-0812 札幌市西区琴似 2 条 3 丁目 2-37  
 サンハイム 1 階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@npolife.net

☆キッチン便り☆

残暑お見舞い申し上げます。

暑い日が続いておりますが、キッチンも暑い中、水分補給しながら頑張っております。

お客様も最近では、冷たいそば・うどん・ひや麦・カレーを注文される方が多く、暑い日はのどごしの良い物やカレーのように辛い食べ物が人気です。

週に一度、のみやまファームより採りたて野菜、果物が入荷されますが本当に新鮮です。ライフの人達が収穫してきたものです。甘いトマト、甘いスイカ、白いとうきび等、皆さまぜひ一度ご賞味ください。



☆夏バテと思ったら…!☆



食欲がなく、水分補給だけで夏を過ごしていませんか？また、冷たいものばかり食べて過ごしていませんか？このような方は秋に胃腸が悲鳴を上げはじめますよ～。少しここで胃腸をいたわる食事を心がけませんか？

例えば、残暑厳しく食欲がない方は、お食事にひとつまみ生姜を加えてみてはいかがでしょうか。煮物・揚げ物・麺類・炒め物など、ありとあらゆるお食事に生姜パワー！！

こってりしたものもあっさり味に変わりますし、発汗作用もあるので体にもよろしいかと思えます。また、辛いものが大丈夫な方は、唐辛子パワーいかがでしょうか？

これからの時期ならナスの辛味噌炒めなど。味噌炒めに輪切りの唐辛子を入れるだけでも大丈夫です。本格的に食欲の秋を迎える前に、まずはご自分の胃腸をいたわってあげましょう。

**☆キッチンレシピ！ ナスの煮びたし**

- ①ナスを食べやすい大きさに切り、茹でます。
- ②茹で上がったナスに、麵つゆ・すりおろし生姜をあえて出来上がり!!

※簡単に出来まゝなので、ぜひお試しください。




珍客

藤井 孝雄

ひだまりはおきゃくさんの販売をもくてきですが、特にしよっちゅうセールスがくることもあります。セールスが来たときは声をかけることになっております。

ひだまりに異動して

高橋 勇祐

8月からひだまりで働いています。主に接客の仕事をしています。まだ仕事自体慣れていませんが自分一人で仕事ができる様になりたいです。

# ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

# ゆい 繭結



## 「老いを育てる・老育学」入門

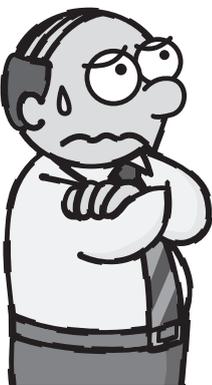
繭結管理者 笠井 衛二

私は、ライフの常勤職員のなかで最高齢者である。1948年生まれであるから、ちょうど63歳になるわけだ。ちなみに干支はネズミ、おうし座のO型と勝手に独白。

この国では「身体障害」と「知的障害」「精神障害」で三大障害と称するが、私はそれに「高齢障害」を加えた四大障害を総体として考えるべきだと思っている。

そんなわけで「老いる」を考える。

老いは突然にやってくる。いや老いに突然気がつくのだが、その自覚症状を体験から検証してみたい。これは決して泣きの告白ではなく、人はどう老いはじめ、どのように戸惑いながら老いに立ち向かうのか、勇気あふれた実証の記録でもある。



まず耳が遠くなった。特にささやき程度は全く把握できない。普通の会話も、「なに?」「あん?」との聞き返しが多発し、聞こえていないのに判ったふりでその場を取り繕うが、そのうち自己嫌悪に落ち込む。会議などは大丈夫だが、隣の人との会話がきれぎれなのだ。

そして記憶の喪失である。あれそれこれ、が会話の主体。まずは人名が壊滅する。昔の友人や出来事は残っているが、数ヶ月前の出会った人などは完全に亡失で、何らかのインパクトがなければ説明されても今日も明日もおぼろ月。

さらに体力と運動能力が落ちた。もともと華奢、可憐が売り物の私であるが、それでもいままでは、横断歩道で息が上がったり、100m走の途中で給水が必要となる事はなかった。

失禁がふえた。まずは残尿感の不鮮明さである。もう終わったかと思い放尿器を収納しても、下着のなかで残量放出。あの生温かさが、

あらゆる恥辱をもたらす惨めな自分を知ることとなる。

まあ、老いを感じる一部の出来事であるが、今後これらが消滅する訳ではないのなら、どう対応、対処、対立すべきなのかを考えるべきだろう。

青春、朱夏、白秋、玄冬と時代は刻まれ、季節は過ぎていく。

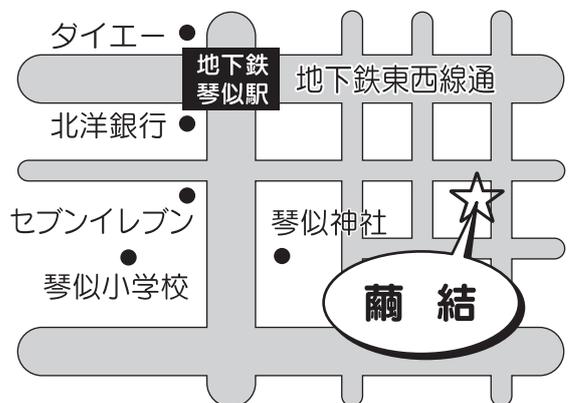
老いに恐れ、物忘れに慄き、失禁に悲しむのもいいだろうが、いっそ「老いる」を楽しむ志向はいかがだろう。

「老いる」がやがてやってくるのなら、その「老いる」を待ち構え、まだ幼子の「老いる」を正しく育てる義務が我々にはあると考える。

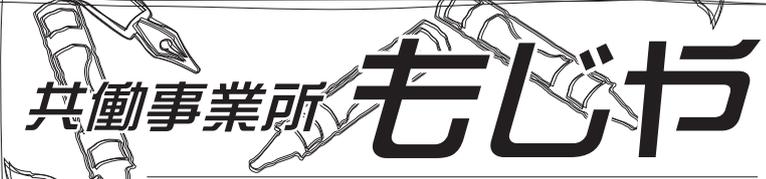
まずは生まれたての「老いる」に人の摂理を説き、邪道を排し、礼節を示し、夢を与える、このような働きかけは「老いる」の当事者にとって当然の責任であろう。

ご同輩よ、まずは「老いる」を感じてほしい。まだ乳臭い「老いる」の非力の行為をしつかりと感じ、観察してほしい。「老いる」の成長は人により異なるが、着実が真意である。健全で将来性のある「老いる」をどう育て慈しむのか。それが「老育学」である。

以下次号



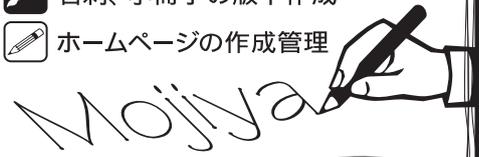
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒 1F  
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088



# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理



## 情けない情報

所長 下斗米 貴行

最近やたらと隣国への反感が騒がれている。

俳優が嫌韓な発言をし、それに煽られるかのよう  
に謀テレビ局の偏った番組制作や、どちらかとい  
うと自国寄りではない報道などをしているのが  
問題らしい。嫌いなら見なければいいし、曲も聴  
かなければいいし無視すればいい。好きな人はと  
ことん見ればいいし、買えばいいと思う。

テレビ局だってビジネスだし、新聞社をもっ  
ているんだからある意味偏ってもしようがないと  
思う。そこら辺を割り切ることは彼等にとっては  
厳しいのだろうか。例えそうだとでもその上で、  
テレビも新聞も選択すればいいと思う。これだけ  
インフラが整っているのだから自分なりのソースを持  
てばいい。でも彼等はその情報が正しいかどうか、不安  
なんだろうかと考えてしまう。



某テレビ局に対してデモ  
をする理由が私にはさっぱりわからない。  
デモの様子は「韓国人は日本から出て行け」など  
恥ずかしい言葉ばかりか飛び交っていた。テレビ  
局の偏った番組制作に対しての感情はどこかに飛  
んでいるわけで、同じ日本人として情けないと感  
じた。

結局、人種差別にしても障害者差別にしても、本  
人そのものを見てないことが問題だろう。相性が  
合わないのは人種ではなく、目の前にいる「彼」  
であり、外人や障害者だからではない。だから、  
おもしろくないのはテレビ番組なわけで、韓国人  
が出ているからというわけではない。そのことに  
煽っている連中に何か不利益でもあったのだろうか。  
簡単に嫌韓や自分は誰よりも愛国心があるとい  
う方はよく考えてほしい。

そんな私も、メディアに踊らされている一人な  
のかもしれないが、追求したいことは仲間と議論  
して、どうでもいいことは自己満足で終了でいい  
のだろうか。

私は、キムチもカレーもピロシキも、マッコリ  
もウオッカもアイリッシュウイスキーも大好きだ  
し、音楽だってバロックもJAZZもHIPHOPもレゲエ  
も好き。好きなら、人種や国・歴史なんて関係な  
いと思う。

みんなTHE BLUE HEARTSの青空って曲聴いてみた  
らいいの!!

## 『もじや移転！市民活動プラザ星園へ』

鈴木 麻依

もじやは8月1日から新しく中央区の中島公園  
付近の市民活動プラザ星園(星園高校跡地)へ移  
転し、私もその場所で働く事となりました。琴似に  
居た時はバス1本だったので地下鉄に乗る機会が  
あまりありませんでしたが、星園に移動してから  
はバス通勤はもちろん、地下鉄に乗っての通勤も  
前よりは増えたので良かったと思います。もじや  
が星園に移動してキーボードも新しくなり、スト  
レスも解消され落ち着いて仕事ができ毎日  
が凄く快適です。猛暑からも解放され涼しく過  
ごしやすい新しい場所で元気に仕事していき  
たいと思います。

## 新人紹介

### 『8月からせいえん』

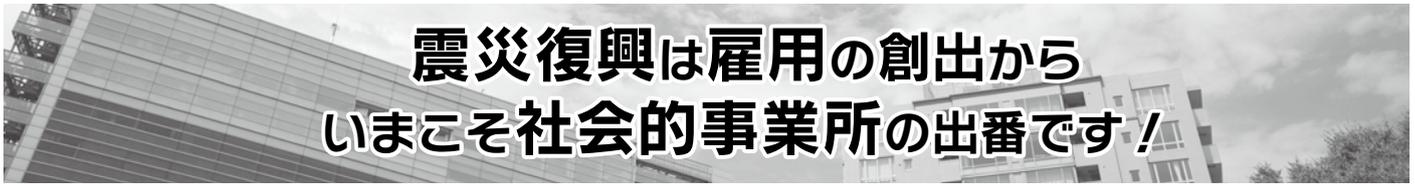
今野 美志

8月1日から、せいえんにうつり、前  
いた職場だと、せまく物をおくスペースがあ  
まりなく、きゅうくつだった。せいえんに  
来てから、まだなれていなくて、おちつか  
ない。きばりやから、さねかず、いしかず  
が来た。

### 『8月から人事異動で』

石川 和寛

きばりやからもじやに配属されました。  
たまにきばりやからポスティングを手伝  
うときもあります。もじやでは楽しくさせ  
てもらってます。これからも宜しくお願い  
します。



npolifebooks

NPO ライフ  
ぶっぼろ人間福祉  
ブックレット

02

誰もが働ける社会を

講座  
「障害者等の雇用を考える  
社会的事業所の役割」報告集

公は制度がないと動かないし、儲からないと  
民は動かないけど、公でもない民でもない、  
この社会の我々の生き方というのを  
とりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

（株）ナイス代表取締役 富田 一幸

今年の1月に開催したセミナー  
「障害者等の就労を考える  
社会的事業所の役割」の  
講演記録が出来ました！

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的  
事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か？

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2  
『誰もが働ける社会を』 2011年6月30日発行  
定価 1,000円(送料別) A5判 140 ページ



npolifebooks

さっぼろ人間福祉  
ブックレット

01

この秀ルース  
加藤 孝

講演録

収容施設は  
もういらな  
いと思っ  
てまで

NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、  
「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使わ  
れることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制  
度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉  
法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぼ  
ろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.1 2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらな  
いと思っ  
てまで』  
定価 840円(送料別) A5判 72ページ

●お申し込み

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net  
H P:http://npolife.net/

私のオススメ

# 大地のゴスペル「Soweto Gospel Choir」

発寒工房館長 ジョン ウルク

2007年、私は日本語を習うためとリフレッシュを兼ねてゴスペルを習ったことがあります。その時学んだ“アメイジンググレイス”をインターネットで探したところ、“Soweto Gospel Choir (大地のゴスペル)”というグループを見つけました。

2年連続グラミー賞を受賞し、2010年にはFIFA南アフリカワールドカップの時世界中に知られたそうです。その中で私は“Thina Simnqobile”という曲がすきです。この曲を聴くとアフリカの動物や広い大地の野原が浮かびます。その歌詞はちょっと怖がる人もいるかも知れませんが、アフリカの倫理、精神かとも思うと何も無い、むしろ新鮮な感じもします。

## ～Thina Simnqobile

(私たちは悪魔を克服している)～

私たちは悪魔を克服している  
我々は彼を克服している  
我々は彼を克服している  
子羊の血によって  
我々は悪魔を克服している



定価：2,615円

最近では音楽を鑑賞する機会が少なくなりました。TVやラジオやメディアPlayerなど音楽やイメージが豊かになり、自分は鈍感になった気もします。

いい音楽に出会うと新しい友達が出来たみたいに胸がウキウキします。

## ご協力ありがとうございます

### 賛同会費

梶浦 英子様

### 維持会費

特定非営利活動法人  
地域障がい活動舎あしの会様

### 寄付金

千島 進様

織本 義昭様

高妻 政行様

宇田川 利夫様

匿名希望 様

### アドボケ購読料

濱中 邦彦様

下田 昭三様

水口 祥次様

小林 郁子様

鈴木 一朗様

野見山 朋秀様

## 編集後記

今年の夏は暑かったですね。もっとも本州は北海道の比ではないですよ。おまけに今年には電力の節約ということも加わり本当に大変だったのではないのでしょうか。ライフでも新たな拠点ができ、引っ越しや人事異動など暑い夏でした。しかし、ライフの大きな目標に立ち、そのうえで今後の事業展開なども考えるとライフの暑い夏はまだまだ終わりそうにありません。私事ですが、長年住み慣れた所から私も引っ越しです。入所施設を出てから暮らしてきた地域だけに感慨もありますが、長年暮らすと荷物も増えて、片づけるのに一苦労です。暑い夏です。(タケ)

## お知らせ

いつもご購入いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

発行人のHSK通信はアドボケイトの制作には関わっておりません。

ご意見、ご要望等がございましたらNPO法人札幌・障害者活動支援センターライフまでお願いいたします。

※HSKとは北海道身体障害者団体定期刊行物協会の略称です。道内の160団体が加盟しており、加盟団体が発行している会報誌をまとめて郵政省に登録をして郵送料を減免していただいておりますが、その窓口になっているのがHSKです。

## アドボケイト 葉月号(第129号)

2011年8月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第473号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ  
事務局長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円